

雑 報

553.44: 550.8 (521.81): 622.19

鳥取県大倉鉱山鉛・亜鉛鉱床概査報告

(鳥取県日野郡石見村)

鉱床は花崗閃緑岩の圧砕裂隙を充填した含鉛・亜鉛石英脈であつて、露頭は数カ所に認められるが、第三鉱体を除いてその性状は明瞭でない。

第三鉱体は鍾幅最大 20cm, 平均 5cm で、走向延長は約 50m である。

鉱石は方鉛鉱を主とし閃亜鉛鉱・黄銅鉱・黄鉄鉱を伴っている。

鉛の最高品位は 60~70% のものを産することもあるが、平均 Pb+Zn 30% である。含銀量は相当高く Ag 300~700 g/t, Cu 1% 前後である。

【内 容 目 次】

要旨, 鉱区鉱業権, 位置交通, 沿革, 地質, 鉱床, 現況, 鉱量, 意見, 附図 2 葉 (土 井 啓 司)

553.46: 550.8 (522.7): 622.19

鹿児島県屋久島麥生鉱山重石鉱床調査報告

昭和 27 年 3 月約 2 週間に亘り鹿児島県屋久島の麦生鉱山附近の地質, 鉱床を調査した。

鉱床は中生層砂岩, 粘板岩とこれを貫く粗粒黒雲母花崗岩との接触部に近い花崗岩または砂岩中に胚胎する含重石石英脈からなる。

鉱床は北部の本鍾鉱床群とその南西部の開運鍾鉱床群とに大別される。

本鍾鉱床群は捕獲岩状の砂岩と花崗岩との接触部附近の延長 20m 内外の細脈の集合よりなり、鉱床規模は中乃至小で低品位である。

開運鍾鉱床群は花崗岩中の節理性裂隙充填式石英脈で、脈幅 10~20cm, 延長数十 m のもの 2~3 條が知られ、現在本格的開発に着手したところである。鉱床規模は中乃至大である。

重石鉱物は大部分マンガン重石よりなる。随伴鉱物は硫砒鉄鉱, 蒼鉛, 輝水鉛鉱等で硫化物は比較的少ない。脈石は多量の電気石(細針状)と白雲母, グライゼン等を伴う。

(林 昇一郎・高 瀬 博)

お こ と わ り

地質調査所月報第 3 巻第 6 号の“万能投影器による岩石の構成鉱物容量比の一測定法”のうち, 52 頁の顕微

鏡写真は, 印刷の都合上原版の約 1/2 弱になつています。